



# 園だより

## ～きづき～

キ3園 第9号

2025年5月号

キッドワールドサード保育園

園長 是永 妃富

新緑の美しい5月が始まりました。子どもたちも新しいクラスに慣れ、元気いっぱい過ごしています。今月はゴールデンウィークや母の日などがあります。ご家族で楽しい時間をすごされると思います。どうぞ、事故や怪我には気をつけて過ごすようにして下さい。

休み明けは、元気な姿が見たいと思います。戸外に出るには、とてもいい季節ですので、たくさん外で遊び、体を強くします。5月の紫外線は強く、こまめな水分補給、休息をしながら過ごしていきたいと思います。今月もよろしく願致します。



- 9日(金) 身体計測
- 15日(木) 健康診断
- 28日(水) 避難訓練

5日はこどもの日です。こいのぼりのように大きく羽ばたいてほしい、健やかな成長が願っています。



**お弁当日は5/24(土)です**

お弁当と食具を持たせてください。  
おやつと飲み物は園で準備いたします。



- ・汗ばむ日が多くなります。ロッカーの中を見て着替えを入れてください。
- ・安全会の保険料を集めます。封筒をお渡ししますので担任に渡してください
- ・園への電話は 097-554-8500 をお願いします。
- ・発熱・嘔吐・下痢・ぐったりしている、いつもと様子が違うときは電話連絡を入れさせていただきます



### 4月子どもたちの様子



先生が入れ替わり動揺する姿があるのでは、とっていました。そんな心配はよそにすぐに慣れ笑顔が見られました。新入園児のお子さんも少し泣いたものの、保育士や友達と係って遊んでいます。みんな明るく過ごしています。不安なことなどありましたら、職員に声かけして下さい。





## キッドエッセイ 61

総合園長 牧野桂一先生

今年度も牧野先生が、子どもの心理についてエッセイを書いてくれます。  
共感したり、発見があったりします。読まれてください。

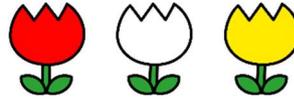
### 『チューリップ』を歌う子どもたち ～みんなちがってみんないい～

牧野 桂一

今日も子どもたちの部屋からチューリップの歌が響いています。子どもたちはただ元気に歌うだけではなく、両手でチューリップの花を作って踊っています。チューリップになりきって踊りながら歌っている子どももいます。

よく聞いてみると、

さいた さいた チューリップの 花が  
ならんだ ならんだ 赤 白 黄色  
♪ どの花見ても きれいだな



と歌っているのです。とっても楽しそうに弾んで歌うので、歌詞もはっきりと聴き取れます。

園庭には、この歌の歌詞のように子どもたちが植えたチューリップが今を盛りに、どの花もきれいに光り輝いて咲いています。

子どもたちの歌が上手になってきたからでしょうか。この歌詞にはとても人を引きつける魅力があることに改めて気づかされます。

「さいた さいた チューリップの 花が」。この子どもたちの声を聞きながらチューリップを見ていると、昨日咲いたチューリップは一層大きく花片を広げています。今日咲いたチューリップは今まさに花片を広げようとしています。明日咲くチューリップも蕾の中に花片を少し見せながら大きくほぐれるように膨らんでいます。それぞれに少しずつ花の開き方は違うのですが、命いっぱいきれいに咲いています。

「ならんだ ならんだ 赤 白 黄色」。咲いたチューリップの花は、形も色もそれぞれに分け隔てなくおのが向き向きに違和感なく並んで咲いています。「ならんだ ならんだ 赤 白 黄色」。ばばらに並んでばらばらにいのちいっぱい咲いています。

「どの花みても きれいだな」。それぞれの花が、それぞれの色できれいに咲いています。「どの花みても きれいだな」。それぞれの花がそれぞれに妨げになることなく自由にいのちいっぱいきれいにきれいに咲いているのです。

このようにして歌詞を聞いていると、『仏説阿彌陀經』という経典の中にある「池中蓮華 大如車輪 青色 青光 黄色黄光 赤色赤光 白色光 微妙香潔」(池の中に車輪のような蓮が咲いている。青い蓮は青く光り、黄色い蓮は黄色く光り、赤い蓮は赤く光り、白い蓮は白く光り、けがれのない素晴らしい香りを放っている。)という有名な一節が浮かんできます。

『仏説阿彌陀經』では、子どもたちが歌っている「チューリップの花」が「蓮の花」になっていますが、チューリップも蓮もそれぞれの花がそのままに香り高く輝いて、誰にも代わることのできないかけがえのない尊い存在であるということをいっているのです。つまり私たちが幸せに生きていくためには、チューリップの花が教えてくれているように「みんなちがってみんないい」(註1：金子みすずさんの『わたしと小鳥とすずと』)ということ子どもたちは毎日、先生と一緒に大きな声で楽しく歌っているのです。

金子みすずさんの『わたしと小鳥とすずと』

わたしと小鳥とすずと

金子みすず



わたしが両手をひろげても、  
お空はちっともとべないが、  
とべる小鳥はわたしのよう、  
地面（じべた）をはやくは走れない。  
わたしがからだをゆすっても、  
きれいな音はでないけど、  
あの鳴るすずはわたしのよう、  
たくさんのうたは知らないよ。  
すずと、小鳥と、それからわたし、  
みんなちがって、みんないい。

金子 みすずさんの詩・・・みんなちがって、みんないい・・・  
いい詩ですね。理解しているつもりですが、どうしても同じ方向に向けた子育てをしてきたような気がします。  
この詩を読んで、ふっと癒された気持ちになりました。  
保護者の皆さまもこれを読んで何かを感じとっていただけると嬉しいです。

是永

